

自立活動部だより

天王みどり学園自立活動部
発行日 2018. 12. 21 No. 3

今号では、本校の外部専門家である高橋OT（作業療法士）の職員研修（ミニ講義）の内容についてお伝えします。体操やダンスの苦手さの背景について、「身体図式（しんたいずしき）」という視点からお話をしてくださいました。



「身体図式について」 ～体操が苦手な子どもの背景因子～

秋田大学医学部保健学科 作業療法学講座講師 高橋 恵一



体操や踊りの模倣が苦手

手足を動かす側、方向が分からないのかもしれない。

〈運動企画能力、左右弁別〉

自分の身体の大きさ、長さ、位置関係がよく分かってないのかもかもしれない。

〈身体図式〉

感覚過敏があると、手のひらや足の裏で体重を支えることを嫌い、四肢に体重をかける経験が乏しいため、身体図式が未熟。

身体図式が曖昧（未熟）だと・・・

- ・手足と体との位置関係が分かりにくい
- ・手足を動かすイメージが分かりにくい



↓
自分の体をどう動かしているのか、どう動いているのか分からないため、体操や踊りが苦手だったり、体操していても手足がきちんと伸びていなかったりする。

身体図式が明確になるには、下のような経験が大切なのね。おうちや学校でもすぐにできそう！

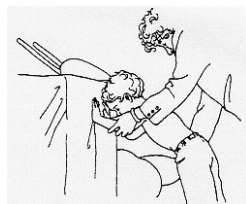


日常生活や学校生活の中で

☆自分の体重を手足で支える、関節や筋肉に力が入るような経験を提供することが重要！（筋肉遊び、力仕事・・・）



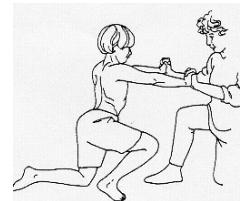
【綱引き】



【物を押ししたり、持ち上げたりする遊び】



【雪寄せ】



【力くらべ】



【机運び】



【雑巾掛け】